

平成24年3月6日

薬事・食品衛生審議会
食品衛生分科会長 岸 玲子 殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会長 大野 泰雄

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会報告について

平成24年2月13日付け厚生労働省発食安0213第2号をもって諮問された、食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づくクロルフェナピルに係る食品規格（食品中の農薬の残留基準）の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

クロルフェナピル

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

1. 概要

(1) 品目名：クロルフェナピル [Chlorfenapyr (ISO)]

(2) 用途：殺虫剤

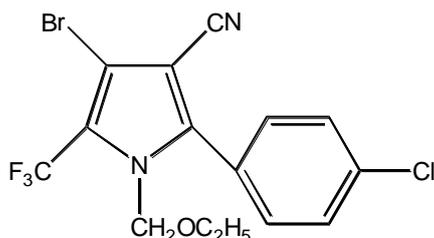
ピロール環を有する殺虫剤である。作用機構はミトコンドリアにおける酸化的リン酸化を阻害することにより殺虫作用を示すと考えられている。

(3) 化学名:

4-bromo-2-(4-chlorophenyl)-1-ethoxymethyl-5-trifluoromethylpyrrole-3-carbonitrile (IUPAC)

4-bromo-2-(4-chlorophenyl)-1-(ethoxymethyl)-5-(trifluoromethyl)-1H-pyrrole-3-carbonitrile (CAS)

(4) 構造式及び物性



分子式 $C_{15}H_{11}BrClF_3N_2O$

分子量 407.6

水溶解度 0.12 mg/L (25°C)

分配係数 $\log_{10}Pow = 4.83$ (25°C)

(メーカー提出資料より)

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

【作物名】、【使用時期】となっているものについては、今回農薬取締法（昭和 23 年法律第 82 号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

10%クロルフェナピルフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロルフェナピルを含む農薬の総使用回数
りんご	キンモンホリガ [®] 、ナミハダニ [®] 、 ハマキムシ類	2000 倍	200～700L /10a	収穫前日 まで	2 回以内	散布	2 回以内
	リンゴサビダニ [®] 、 ヨモギエダシヤク	2000～4000 倍					
もも	ミカンキロアサミウマ	2000 倍					
	モモハダニ [®] 、ナミハダニ [®] 、 カンザワハダニ [®] 、モモサビダニ [®]						
おうとう	ナミハダニ [®] 、カンザワハダニ [®] 、 チャノキイロアサミウマ	2000 倍		収穫 14 日 前まで			
ぶどう	ナミハダニ [®] 、カンザワハダニ [®] 、 ハスモンヨトウ、トビイロトナガ [®] 、 モンキクロノメカ [®]	2000～4000 倍					
	チャノキイロアサミウマ、 フタテンヒメヨコバイ、 ミカンキロアサミウマ、 ブドウサビダニ [®]						
かき	カキタアサミウマ、ナミハダニ [®] 、 カンザワハダニ [®] 、イガ類	2000 倍					
	カキノハタムシガ [®] 、 チャノキイロアサミウマ	2000～4000 倍					
	カキサビダニ [®]	4000 倍					
なし	ナミハダニ [®] 、カンザワハダニ [®] 、 ニセナシサビダニ [®]	2000～3000 倍	収穫 7 日 前まで				
	ヨモギエダシヤク	2000 倍					
かんきつ	ミカンキロアサミウマ、 ヨモギエダシヤク	2000～4000 倍	収穫前日 まで				
	ミカンサビダニ [®] 、チャノホコリダニ [®] 、 チャノキイロアサミウマ	4000～6000 倍					
	ハスモンヨトウ、 リュウキュウミカンサビダニ [®] 、 カネタキ、スグリゾウムシ	4000 倍					

10%クロルフェナピルフロアブル（つづき）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロルフェナピルを含む農薬の総使用回数
いちじく	カンザワハダニ、 ヒラスハナアザミウマ	2000 倍	200～700L /10a	収穫前日 まで	2 回以内	散布	2 回以内
キウイフルーツ	キウイメコハライ						
小粒核果類	オウトウハダニ						
ネクタリン	モモハダニ、ナミハダニ、 カンザワハダニ、モモサビダニ	2000～4000 倍		収穫 7 日 前まで			
	ミカンキロアザミウマ						
さんしょう (果実)	チャノキアザミウマ	4000 倍		収穫 3 日 前まで			
さといも	カンザワハダニ、ハスモンヨトウ	2000 倍					
あずき	ハダニ類、ノメイガ類						
きゅうり	ミカンキロアザミウマ、 シメキロアザミウマ、ハダニ類、 ウリノメイガ			2000 倍			3 回以内
うり類 (漬物用)	シメキロアザミウマ、 ハダニ類	2 回以内	2 回以内				
すいか	ハダニ類、オオタバコガ	4000 倍					
	シメキロアザミウマ						
トマト ミニトマト	オオタバコガ、ナミハダニ、 ミカンキロアザミウマ、 トマトサビダニ	2000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	3 回以内	
なす	シメキロアザミウマ、 ハダニ類、ミカンキロアザミウマ、 ヨトウムシ、チャノホコリダニ、 オオタバコガ、ハスモンヨトウ、			4 回以内	4 回以内		
ピーマン とうがらし類 (ししとうを 除く)	ミカンキロアザミウマ、 シメキロアザミウマ、 オオタバコガ、ハダニ類			4000 倍		2 回以内	2 回以内
ししとう	ヒラスハナアザミウマ						
キャベツ	コナガ、アオムシ、 タナギンウバ、ハスモンヨトウ、 ヨトウムシ、シロイモジヨトウ、 オオタバコガ、ハイマダラノメイガ	2000 倍					

10%クロルフェナピルフロアブル (つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	クロルフェナピルを 含む農薬の 総使用回数		
ブロッコリー	コガ、アオシ、 ヨウムシ、ハモンヨウ	2000 倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2 回 以内	散布	2 回以内		
茎ブロッコリー	アオシ			収穫前日まで					
なばな	ハモンヨウ			収穫 7 日前まで					
はくさい	コガ、アオシ、 ヨウムシ			収穫前日まで					
非結球あぶらな 科葉菜類 (こま つな、ひろしま なを除く)	コガ			収穫 3 日前まで	1 回		2 回 以内	1 回	
ひろしまな	コガ、アオシ			収穫 14 日前まで	2 回				
だいこん					1 回				
こまつな					1 回				
かぶ	コガ、ヨウムシ、 ナメグリバエ				収穫前日まで		2 回 以内	散布、但し花穂 の発生期にはマ ルチフィルム被覆に より散布液が 直接花穂に飛 散しない状態 で使用する	2 回以内
みょうが (花穂)	ハダニ類			みょうが (花 穂) の収穫前日 まで 但し、花 穂を収穫しな い場合にあって は開花期終了 まで					
みょうが (茎葉)									
いちご	ハダニ類、 ハモンヨウ、 シクランホコリダニ、 ミカンキイロアザミウマ			収穫前日まで					
ねぎ	シイモジ ヨウ			収穫 7 日前まで					
オクラ	ハモンヨウ、 オオハコガ			収穫前日まで					
セルリー	ヨウムシ	収穫 14 日前ま で							
コリアンダー (葉)	ハモンヨウ								

10%クロルフェナピルフロアブル (つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロルフェナピルを含む農薬の総使用回数	
レタス	ハスモンヨトウ、材カガ、	2000 倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2 回以内	散布	2 回以内	
非結球レタス	ナメクジ、ヨウムシ			収穫 3 日前まで				
モロヘイヤ	アザミヤカ類			収穫 14 日前まで	1 回		2 回以内	1 回
あしたば	ウドノメカガ			収穫 7 日前まで				
カリフラワー	コカガ			収穫 3 日前まで	2 回以内		2 回以内	2 回以内
やまのいも	カンザワハダニ、			収穫前日まで				
やまのいも (むかご)	カガ、イモカガ			収穫 3 日前まで				
かんしょ	ハスモンヨトウ、ハダニ類			200～700 L/10a	収穫前日まで		2 回以内	2 回以内
はすいも (葉柄)	カンザワハダニ				収穫 3 日前まで			
さといも (葉柄)					収穫 3 日前まで			
バナナ	バナナツヤオサザウムシ		200～700 L/10a	収穫 14 日前まで	1 回		1 回	
よもぎ	シシトウアザミヤカ			収穫 3 日前まで				
つるむらさき	ハスモンヨトウ		100～300 L/10a	収穫 7 日前まで	1 回		1 回	
食用ミニバラ	ハダニ類、ヨウムシ類、 シシトウアザミヤカ			収穫 3 日前まで				
すいぜんじな	ハダニ類、ヨウムシ			2 回以内	2 回以内		2 回以内	
アスパラガス	ハダニ類、材カガ、 ハスモンヨトウ、ヨウムシ、 ジュウシホシクビナガハムシ							収穫前日まで
ふき	ハスモンヨトウ、ハダニ類							収穫 7 日前まで
てんさい	ヨウムシ、ハダニ類、 カメノコハムシ			200～700 L/10a	収穫 14 日前まで		1 回	1 回
マンゴー	チャノキアザミヤカ				収穫 14 日前まで			
ゴレンシ	カンザワハダニ			100～300 L/10a	収穫 7 日前まで		1 回	1 回
メキヤベツ	ハスモンヨトウ	収穫 14 日前まで						
非結球 メキヤベツ		ハスモンヨトウ		収穫 14 日前まで	1 回	1 回		
葉にんにく	ハダニ類	収穫 14 日前まで						
みつば	ハスモンヨトウ	100～300 L/10a	但し、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで	1 回	1 回			

10%クロルフェナピルフロアブル (つづき)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロルフェナピルを含む農薬の総使用回数
にがうり	ミナキイロアザミマ	2000 倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2 回以内	散布	2 回以内
豆類 (未成熟、 ただし、実えん どう、さやえん どうを除く)	ハダニ類						
さやえんどう	ハスモンヨトウ、ハダニ類						
実えんどう	ハスモンヨトウ						
エンサイ							
やなぎたで							
つわぶき	ハダニ類			収穫 3 日前まで			
食用ぎく	ミカンキイロアザミマ、 ミナキイロアザミマ、 ハダニ類、材カハコガ、 アワダチソウゲンハイ、 ヨウムシ類			収穫 14 日前まで			
				収穫 7 日前まで			
食用プリムラ	ハスモンヨトウ、ハダニ類、 ヨウムシ類、 ミカンキイロアザミマ			収穫 14 日前まで			
食用金魚草 食用なでしこ 食用アザガム 食用せんにち こう 食用トレニア 食用パンジー	ミカンキイロアザミマ、 ヨウムシ類、 ハダニ類			収穫 14 日前まで			
かぼちゃ (日本かぼちゃ)	ミナキイロアザミマ			収穫前日まで			
たらのき				収穫 90 日前まで			
はまぼうふう (葉)	ハダニ類			親株養成期、但し、 収穫 90 日前まで			
うど	シクラメンホリダニ	根株養成期、但し、 収穫 75 日前まで	2 回以内				
ふき (ふきのとう)	ハスモンヨトウ、 ハダニ類	収穫 90 日前まで					

10%クロルフェナピルフロアブル（つづき）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロルフェナピルを含む農薬の総使用回数
きく（葉）	ミカンキイロアザミウマ、 ミナミキイロアザミウマ、 ヨトウムシ類、ハダニ類、 オオタバコガ、 アワダチソウゲンハダニ、	2000 倍	100～300 L/10a	収穫 7 日前まで	2 回以内	散布	2 回以内
茶	チャノミドリヒメヨコバエ、 チャノキイロアザミウマ、 カンザワハダニ、 チャノカサビダニ、 チャノホコリダニ、 ヨモギエダシヤク、 チャノコカクモンハマキ、 マダラカサハラハムシ、 チャトケコサジラミ		200～400 L/10a	摘採 7 日前まで			
しゅんぎく	ハスモンヨトウ		100～300 L/10a	収穫前日まで			
しょうが	ヨトウムシ						
ほうれんそう	ホウレンソウケナガコナダニ	4000～ 6000 倍		2 葉期まで但し、 収穫 14 日前まで	1 回		1 回

10%クロルフェナピルフロアブル（つづき）

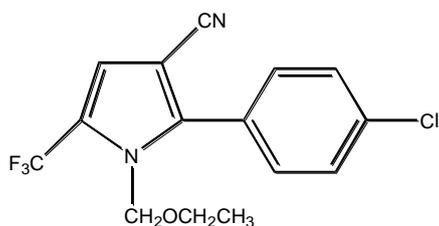
作物名	適用場所	適用病害虫名	使用量	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロルフェナピルを含む農薬の総使用回数
みかん	温室、ガラス 室等密閉	ミカンキイロアザミウマ	300mL/10a	10L/10a	収穫前日 まで	2 回以内	常温 煙霧	2 回以内
ぶどう	できる場所	チャノキイロアザミウマ	150mL/10a	6L/10a	収穫 14 日 前まで			

3. 作物残留試験

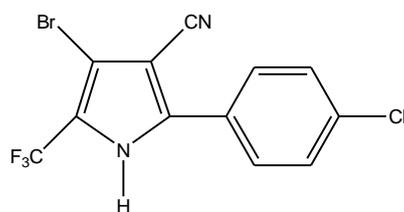
(1) 分析の概要

① 分析対象の化合物

- ・ クロルフェナピル
- ・ 2-(4-クロロフェニル)-1-(エトキシメチル)-5-(トリフルオロメチル)ピロール-3-カルボニトリル（以下、代謝物Dという。）
- ・ 4-ブromo-2-(4-クロロフェニル)-5-(トリフルオロメチル)ピロール-3-カルボニトリル（以下、代謝物Fという。）



代謝物D



代謝物F

② 分析法の概要

試料からアセトンで抽出し、n-ヘキサンに転溶する。フロリジルカラム又はシリカゲルカラムあるいはオクタデシルシリル化シリカゲル (C18) カラム、シリカゲルカラムで精製し、ガスクロマトグラフ (NPD 又は ECD) で定量する。代謝物については、n-ヘキサンに転溶後、シリカゲルカラムで精製し、メチル化してガスクロマトグラフ (NPD) で定量する。

または、クロルフェナピルについて、試料からアセトンで抽出し、多孔性ケイソウ土カラム、フロリジルカラム又は多孔性ケイソウ土カラム、グラファイトカーボンカラム、フロリジルカラムで精製した後、ガスクロマトグラフ (NPD) 又はガスクロマトグラフ・質量分析計 (GC-MS) で定量する。

あるいは、試料からアセトンで抽出し、n-ヘキサンに転溶した後、グラファイトカーボン・アミノプロピルシリル化シリカゲル (NH₂)・シリカゲル積層カラムで精製し、ガスクロマトグラフ (ECD) 又は液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計 (LC-MS/MS) で定量する。

定量限界： クロルフェナピル： 0.004～0.3 ppm

代 謝 物 D： 0.006 ppm

代 謝 物 F： 0.006～0.02 ppm

(2) 作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙 1-1、海外で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙 1-2 を参照。

4. 乳牛における残留試験

乳牛に対して飼料中濃度としてクロルフェナピル 0、0.66、2.19、6.81ppm に相当する量のクロルフェナピルを 28 日間にわたり経口投与し、乳、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるクロルフェナピル含量を測定した。(定量限界：筋肉、脂肪及び乳：0.01 ppm、肝臓及び腎臓：0.05 ppm)。結果については表 1 参照。

上記の結果に関連して、オーストラリアでは、乳牛、羊及び豚における最大理論的飼料由来負荷 (MTDB) ^{注)} はいずれも 0.47ppm と評価している。

表 1. 組織中の最大残留 (ppm)

	0.66ppm 投与群	2.19ppm 投与群	6.81ppm 投与群
筋肉	<0.01	<0.01-0.017	<0.01-0.022
脂肪	0.031-0.067	0.165-0.429	0.153-0.597
肝臓	<0.05	<0.05	<0.05
腎臓	<0.05	<0.05	<0.05
乳	<0.01	<0.01-0.035	<0.01-0.042

注) 最大理論的飼料由来負荷 (Maximum Theoretical Dietary Burden : MTD B) : 飼料として用いられるすべての飼料品目に残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大量。飼料中残留濃度として表示される。

(参考 : Residue Chemistry Test Guidelines OPPTS 860.1480 Meat/Milk/Poultry/Eggs)

5. 産卵鶏における残留試験

産卵鶏に対してフェニル環を均等に標識したクロルフェナピル (Phe-¹⁴C) 又はピロール環の2位を標識したクロルフェナピル (Pyr-¹⁴C) を7日間にわたりカプセル経口投与 (低用量群 : 0.22 mg/kg 体重 (飼料中3.02~3.10ppm相当))、高用量群 : 1.1mg/kg 体重 (同14.42~15.04ppm相当)) し、液体クロマトグラフ (MSD) を用いて筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるクロルフェナピルについて測定を行った (定量限界 : 0.01ppm)。また、鶏卵についても投与開始後1~7日に採卵しクロルフェナピルについて分析した。組織中のクロルフェナピルの最大残留については表2参照。

上記の結果に関連して、オーストラリアではMTD Bを0.44ppmと評価している。

表 2. 組織中のクロルフェナピルの最大残留 (ppm)

	Phe- ¹⁴ C		Pyr- ¹⁴ C	
	低用量	高用量	低用量	高用量
筋肉	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
脂肪	0.04	0.39	0.07	0.29
肝臓	<0.01	0.04	<0.01	0.03
腎臓	0.02	0.05	<0.01	0.04
鶏卵	0.03	0.17	0.03	0.16

6. ADI の評価

食品安全基本法 (平成15年法律第48号) 第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたクロルフェナピルに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量 : 2.6 mg/kg 体重/day
 (動物種) ラット
 (投与方法) 混餌投与

(試験の種類) 慢性神経毒性試験

(期間) 1年間

安全係数：100

ADI : 0.026 mg/kg 体重/day

7. 諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価はなされておらず、国際基準も設定されていない。

米国、カナダ、欧州連合（EU）、オーストラリア及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてなす科野菜等に、EUにおいて茶等に、オーストラリアにおいてりんご、畜産物等に基準値が設定されている。

8. 基準値案

(1) 残留の規制対象

クロルフェナピルとする。

一部の作物残留試験において代謝物D及び代謝物Fの分析が行われているが、代謝物D及び代謝物Fの残留はクロルフェナピルの残留に比べて十分に低いことから、規制対象物質としては含めないこととする。

なお、食品安全委員会による食品健康影響評価においても、農産物中の暴露評価対象物質としてクロルフェナピル（親化合物のみ）を設定している。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

(3) 暴露評価

各食品について基準値案の上限の量まで又は作物残留試験成績等のデータから推定される量のクロルフェナピルが残留していると仮定した場合、国民栄養調査結果に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量（推定1日摂取量(EDI)）のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が全くないとの仮定の下に行った。

	EDI/ADI (%) <small>注)</small>
国民平均	23.4
幼小児(1~6歳)	42.9
妊婦	17.8
高齢者(65歳以上)	25.1

注) 個別の作物残留試験成績等がある食品についてはEDI試算、それ以外の食品についてはTMDI試算を行った。

TMD I 試算法：基準値案×各食品の平均摂取量

EDI 試算法：作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

クロルフェナピル作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm) 【クロルフェナピル/代謝物D/代謝物F】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
うめ (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 400L/10 a	2回	1, 3, 14日	圃場A: 0.52/-/- 圃場B: 0.38(2回、3日) /-/-
えだまめ (さや)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	1, 3, 14日	圃場A: 0.46/-/- 圃場B: 1.67/-/-
さやいんげん (さや)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	1, 3, 14日	圃場A: 0.12/-/- 圃場B: 0.15/-/-
しゅんぎく (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 150L/10 a	2回	1, 3, 14日	圃場A: 12.0(2回、3日) /-/- 圃場B: 13.4/-/-
しょうが (塊茎)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: <0.01/-/- 圃場B: <0.01/-/-
にんじん (露地)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L, 178L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.04(2回、3日) /-/- 圃場B: 0.02(2回、3日) /-/-
ほうれんそう (茎葉)	2	10%フロアブル	4000倍散布 155L, 180L/10 a	1回	14, 21日	圃場A: 1.06/-/- 圃場B: 0.68/-/-
たらのき (新芽)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10 a	2回	91日	圃場A: 0.01/-/- 圃場B: <0.01/-/-
はまぼうふう (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 100L/10 a	3回	111日 87日	圃場A: <0.1/-/- 圃場B: <0.1/-/-(#)
うど (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10 a	2回	78, 85日	圃場A: <0.2(2回、78日) /-/- 圃場B: <0.2(2回、78日) /-/-
ふきのとう (花蕾)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10 a	2回	98, 105, 112日	圃場A: <0.3(2回、98日) /-/- 圃場B: <0.3(2回、98日) /-/-
りんご (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10 a	2回	21, 28, 42日	圃場A: 0.291*/-/<0.006* (*2回、21日) 圃場B: 0.108*/-/<0.006* (*2回、21日)
りんご (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10 a	2回	3, 7, 14日	圃場A: 0.38*(2回、14日) /-/<0.006**(**2回、3日) 圃場B: 0.420*(2回、7日) /-/<0.006**(**2回、3日)
りんご (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 400L, 600L/10 a	2回	1, 7, 21日	圃場A: 0.60(2回、7日) /-/- 圃場B: 0.69 /-/-
だいこん (根部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	14, 21日	圃場A: 0.014/<0.006/<0.006 圃場B: 0.02/<0.006/<0.006
だいこん (葉部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	14, 21日	圃場A: 0.27-/<0.012 圃場B: 1.42-/0.019*(2回、21日)
キャベツ (葉球)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 0.124*/<0.006*/<0.006*(2回、7日) 圃場B: 0.22*/<0.006*/<0.006*(2回、7日)
キャベツ (葉球)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10 a	2回	1, 3, 14日	圃場A: 0.30(2回、3日) /-/- 圃場B: 0.33/-/-
なす (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L, 200L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.324/-/<0.006 圃場B: 0.164/-/<0.006
なす (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 180~300L/10 a	4回	1, 3, 7日	圃場A: 0.18/-/- 圃場B: 0.22/-/-
きゅうり (可食部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.166/-/<0.006 圃場B: 0.118/-/<0.006
きゅうり (可食部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 250L/10 a	3回	1, 3, 7日	圃場A: 0.05/-/- 圃場B: 0.08/-/-
はくさい (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 0.14(2回、14日) /-/<0.006* (*2回、7日) 圃場B: 0.09*/-/<0.006* (*2回、7日)
はくさい (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L, 200L/10 a	2回	1, 3, 14日	圃場A: 0.64/-/- 圃場B: 0.48(2回、3日) /-/-
茶 (荒茶)	2	10%フロアブル	2000倍散布 400L/10 a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 30.8/-/0.37* (*2回、14日) 圃場B: 15.8/-/0.09
茶 (浸出液)	2	10%フロアブル	2000倍散布 400L/10 a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 0.36/-/<0.02 圃場B: 0.22/-/<0.02
茶 (荒茶)	2	10%フロアブル	2000倍散布 400L/10 a	1回	7, 14, 21日 7, 14日	圃場A: 20.3/-/- 圃場B: 28.6/-/-
茶 (浸出液)	2	10%フロアブル	2000倍散布 400L/10 a	1回	7, 14, 21日 7, 14日	圃場A: 0.38/-/- 圃場B: 0.64/-/-
かき (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10 a	2回	14, 21, 28日	圃場A: 0.39/-/- 圃場B: 0.14/-/-
いちご (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	22日 57日	圃場A: 0.04(2回、22日) /-/- 圃場B: 0.03(2回、57日) /-/-
いちご (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L, 250L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.30/-/- 圃場B: 1.54/-/-
なし (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10 a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 0.35/-/- 圃場B: 0.28/-/-

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm) 【クロロフェニル/代謝物D/代謝物F】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
レタス(茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 0.21/-/- 圃場B: 0.09/-/-
レタス(茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 150L~200L/10 a	2回	1, 3, 14日	圃場A: 0.52/-/- 圃場B: 0.04/-/-
レタス(茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 270L, 200L/10 a	2回	1, 3, 14日	圃場A: 1.36(2回、3日) /-/- 圃場B: 1.00/-/-
てんさい(根部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 0.12(2回、14日) /-/- 圃場B: 0.05(2回、14日) /-/-
ブロッコリー(花蕾)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 0.174/-/- 圃場B: 0.420/-/-
ブロッコリー(花蕾)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L, 256L/10 a	2回	1, 3, 14日	圃場A: 1.10/-/- 圃場B: 0.27/-/-
みかん(果肉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.07/-/- 圃場B: 0.03/-/-
みかん(果皮)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 2.24/-/- 圃場B: 0.74/-/-
みかん(果肉)	2	10%フロアブル	33.3倍常温煙霧 10L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: <0.02/-/- 圃場B: <0.02/-/-
みかん(果皮)	2	10%フロアブル	33.3倍常温煙霧 10L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 3.90(2回、3日) /-/- 圃場B: 1.69/-/-
なつみかん(果実全体)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.35(2回、7日) /-/- 圃場B: 0.73(2回、3日) /-/-
なつみかん(果肉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: <0.01/-/- 圃場B: <0.01/-/-
なつみかん(果皮)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 1.14(2回、7日) /-/- 圃場B: 2.32(2回、3日) /-/-
ゆず(果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.26(2回、3日) /-/- 圃場B: 0.48(2回、7日) /-/-
もも(果肉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10 a	2回	1, 3, 7日 1, 3日	圃場A: <0.01/-/- 圃場B: <0.01/-/-
もも(果皮)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10 a	2回	1, 3, 7日 1, 3日	圃場A: 3.52(2回、3日) /-/- 圃場B: 2.22(2回、3日) /-/-
ピーマン(果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.20/-/- 圃場B: 0.36/-/-
チンゲンサイ(葉茎)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	1回	7, 14, 21日	圃場A: 1.38(1回、7日) /-/- 圃場B: 0.52(1回、7日) /-/-
オクラ(果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 150L/10 a	1又は2回	1, 2, 3日	圃場A: 0.22/-/- 圃場B: 0.30/-/-
おうとう(果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10 a	2回	14, 21日 14, 22日	圃場A: 0.32(2回、21日) /-/- 圃場B: 0.12/-/-
あずき(乾燥子実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	3, 7, 14日	圃場A: <0.01/-/- 圃場B: <0.01/-/-
葉ねぎ(茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 1.30/-/- 圃場B: 0.74/-/-
根深ねぎ(茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 0.90/-/- 圃場B: 0.82/-/-
トマト(果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.09/-/- 圃場B: 0.12(2回、3日) /-/-
ぶどう(果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 350L/10 a	2回	14, 21, 30日	圃場A: 0.08(2回、30日) /-/- 圃場B: 0.84(2回、30日) /-/-
ぶどう(果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 333, 300L/10 a	2回	14, 21, 30, 45日	圃場A: 2.39(2回、21日) /-/- 圃場B: 0.83/-/-
ぶどう(果実)	1	10%フロアブル	40倍常温煙霧散布 6L/10 a	2回	14, 21, 30, 45日	圃場A: 0.16/-/-
ぶどう(果実)	1	10%フロアブル	85倍常温煙霧散布 12.8L/10 a	2回	14, 21, 30日	圃場A: 0.27/-/-
さといも(塊茎)	1	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	3回	7, 14, 21日	圃場A: <0.005(3回、7日) (#) ^{注2)} /-/-
さといも(塊茎)	1	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	7, 14日	圃場A: 0.006(2回、14日) /-/-
さといも(葉柄)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	3, 7, 14日	圃場A: 0.50/-/- 圃場B: 0.08/-/-
アスパラガス(茎)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.20/-/- 圃場B: 0.02/-/-
ふき(葉柄)	2	10%フロアブル	2000倍散布 150L/10 a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 0.22/-/- 圃場B: 0.34/-/-

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm) 【クロルフェニル/代謝物D/代謝物F】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
いちじく (可食部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.20/-/- 圃場B: 0.48/-/-
いちじく (可食部)	1	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.45/-/-
すいか (果肉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: <0.01/-/- 圃場B: <0.01/-/-
こまつな (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	1回	3, 7, 14, 21日	圃場A: 2.84/-/- 圃場B: 2.28/-/-
こまつな (茎葉)	1	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	1回 2回	7, 14日	圃場A: 1.22/-/- 圃場B: 1.70(2回、7日) /-/-
みょうが (花穂)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: <0.05/-/- 圃場B: <0.05/-/-
ししとう (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.90/-/- 圃場B: 2.35/-/-
ししとう (果実)	2	10%フロアブル	4000倍散布 300L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.42/-/- 圃場B: 0.27/-/-
伏見甘長 とうがらし (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.51 (2回、3日) /-/- 圃場B: 0.68/-/-
モロヘイヤ (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 260L, 160L/10 a	1回	14, 21日	圃場A: 0.36/-/- 圃場B: 0.16/-/-
あしたば (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10 a	2回	7, 14日	圃場A: 0.6/-/- 圃場B: <0.3/-/-
カリフラワー (花蕾)	1	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10 a	2回	3, 7, 14日	圃場A: 0.38/-/-
カリフラワー (花蕾)	1	10%フロアブル	2000倍散布 380L/10 a	2回	3, 7, 13日	圃場A: 0.154 (2回、3日) (#) /-/-
やまのいも (塊茎)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300, 500L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: <0.01/-/- 圃場B: <0.01 (2回、1日) (#) /-/-
やまのいも (むかご)	2	10%フロアブル	2000倍散布 500L/10 a	2回	3, 7, 14日	圃場A: 0.57 (2回、7日) (#) /-/- 圃場B: 0.66 (2回、3日) (#) /-/-
かんしょ (塊根)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: <0.01/-/- 圃場B: <0.01/-/-
はすいも (葉柄)	1	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.06 (2回、3日) /-/-
はすいも (葉柄)	1	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.08 (2回、7日) /-/-
ひろしまな (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 150L/10 a	2回	3, 7, 14日	圃場A: 1.06/-/- 圃場B: 2.74/-/-
ネクタリン (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 400, 600L/10 a	2回	7, 14日	圃場A: 0.28 (2回、14日) /-/- 圃場B: 0.45/-/-
さんしょう (果実)	2	10%フロアブル	4000倍散布 300L/10 a	2回	7, 14, 21, 28日	圃場A: 0.72/-/- 圃場B: 0.56 (2回、14日) /-/-
サラダ葉 (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 260L, 300L/10 a	2回	3, 7, 14日	圃場A: 7.58/-/- 圃場B: 4.38/-/-
サラダ葉 (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10 a	2回	3, 7, 14日	圃場A: 4.88/-/- 圃場B: 11.6/-/-
リーフレタス (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10 a	2回	3, 7, 14日	圃場A: 2.84/-/- 圃場B: 6.14/-/-
リーフレタス (茎葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10 a	2回	3, 7, 14日	圃場A: 11.0/-/- 圃場B: 5.66/-/-
ミニトマト (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300, 200L/10 a	2回	1, 7, 14日	圃場A: 0.20/-/- 圃場B: 0.12 (2回、7日) /-/-
ミニトマト (果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200, 297L/10 a	3回	1, 3, 7日	圃場A: 0.35(3回、3日) /-/- 圃場B: 0.48/-/-
かぶ (葉部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	1, 3, 7, 14日	圃場A: 9.60/-/- 圃場B: 4.66 (2回、3日) /-/-
かぶ (根部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	1, 3, 7, 14日	圃場A: 0.02/-/- 圃場B: 0.05 (2回、14日) /-/-
かぶ (葉部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200, 270L/10 a	2回	1, 7, 14, 21日	圃場A: 9.52/-/- 圃場B: 5.37 (2回、14日) /-/-
かぶ (根部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L, 270L/10 a	2回	1, 7, 14, 21日	圃場A: 0.02/-/- 圃場B: 0.04 (2回、7日) /-/-
未成熟えんどう (さや)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L, 460L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.58/-/- 圃場B: 0.96 (2回、1日) (#) /-/-
すいぜんじな (葉茎)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	1, 3, 7, 14日	圃場A: 11.2 (2回、3日) /-/- 圃場B: 4.0/-/-

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm) 【クロロフェナピル/代謝物D/代謝物F】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
非結球芽キャベツ(えき芽葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 0.38/-/- 圃場B: 0.24/-/-
非結球芽キャベツ(本葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	7, 14, 21日	圃場A: 4.62/-/- 圃場B: 5.82/-/-
みずな(可食部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 100L/10 a	1回	3, 7, 14日	圃場A: 1.28/-/- 圃場B: 4.86/-/-
山東菜(莖葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10 a	1回	3, 7, 14日	圃場A: 0.88/-/- 圃場B: 1.96/-/-
茎ブロッコリー(花蕾と花茎)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	1, 3, 7, 14日	圃場A: 0.39/-/- 圃場B: 0.72/-/-
なばな(莖葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10 a	2回	7, 14日	圃場A: 0.96/-/- 圃場B: 0.95/-/-
マンゴー(果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10 a	2回	14, 21, 30日	圃場A: 0.085/-/- 圃場B: 0.080/-/-
ゴレンシ(可食部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10 a	2回	14, 21, 30日	圃場A: 0.74/-/- 圃場B: 0.74 (2回、21日) /-/-
芽キャベツ(脇芽)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	7, 14, 21日	圃場A: <0.05/-/- 圃場B: 0.08 (2回、21日) /-/-
葉にんにく(葉と鱗茎)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200-220L, 167L/10 a	1回	14日	圃場A: 0.22/-/- 圃場B: 0.14/-/-
みつば(莖葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 100L/10 a	1回	14日	圃場A: 1.3/-/- 圃場B: 0.8/-/-
セルリー(莖葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 167, 300L/10 a	2回	14日	圃場A: 1.39/-/- 圃場B: 1.36/-/-
コリアンダー(莖葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 150L, 200L/10 a	2回	14, 21日	圃場A: 1.50/-/- 圃場B: 1.48/-/-
にがうり(果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.4/-/- 圃場B: 0.2/-/-
エンサイ(莖葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	3, 7, 14日	圃場A: <0.05/-/- 圃場B: 0.91/-/-
やなぎたで(莖葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 150L/10 a	2回	14, 21日	圃場A: 1.45/-/- 圃場B: 0.55/-/-
つわぶき(可食部)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10 a	2回	14, 21, 30日	圃場A: 0.058/-/- 圃場B: 0.052/-/-
食用ぎく(花全体)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L, 493L/10 a	2回	7, 14日	圃場A: 0.390/-/- 圃場B: 1.008 (2回、7日) (#) /-/-
食用プリムラ(花器全体)	2	10%フロアブル	2000倍散布 150L/10 a	2回	14, 21日	圃場A: 0.57/-/- 圃場B: 0.62/-/-
かぼちゃ(果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: 0.06/-/- 圃場B: 0.12/-/-
バナナ(果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200L/10 a	2回	14, 21日	圃場A: 0.28/-/- 圃場B: 0.83/-/-
よもぎ(葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 200-300L, 200L/10 a	1回	3, 7, 14日	圃場A: 3.93/-/- 圃場B: 4.94/-/-
すもも(果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 400L/10 a	2回	1, 3, 14日	圃場A: 0.10 (2回、3日) /-/- 圃場B: 0.18/-/-
つるむらさき(莖葉)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10 a	1回	7, 14, 21日	圃場A: 0.63/-/- 圃場B: 0.40/-/-
食用ミニバラ(花器)	2	10%フロアブル	2000倍散布 250L, 240L/10 a	2回	3, 7, 14日	圃場A: 1.45/-/- 圃場B: 1.32/-/-
キウイフルーツ(果実)	2	10%フロアブル	2000倍散布 300L/10 a	2回	1, 3, 7日	圃場A: <0.01/-/- 圃場B: <0.01/-/-

注1) 最大残留量: 当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験 (いわゆる最大条件下の作物残留試験) を実施し、それぞれの試験から得られた残留量。(参考: 平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に関する意見具申」)

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について()内に記載した。

注2) (#) これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内で実施されていない作物残留試験については、適用範囲内で実施されていない条件を斜体で示した。

注3) 今回の適用拡大申請に伴い、新たに提出された作物残留試験データを網掛けとした。

クロルフェナピル海外作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 ^(注1) (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
トマト (果実)	2	21.4%SC剤	0.18-0.21 lb ai/A 散布	5回	0, 1, 3, 5日	圃場A: 0.29 (5回、0日) (#) ^(注2) 圃場B: 0.29 (5回、0日) (#)
トマト (果実)	2	21.4%SC剤	0.3 lb ai/A 散布	3回	0, 3, 14, 21日	圃場A: 0.14 (3回、3日) (#) 圃場B: 0.57 (3回、0日) (#)
ピーマン (果実)	1	21.4%SC剤	0.18-0.21 lb ai/A 散布	5回	0, 1, 3, 5日	圃場A: 0.41 (5回、1日) (#)
とうがらし (果実)	1	21.4%SC剤	0.18-0.21 lb ai/A 散布	5回	0, 1, 3, 5日	圃場A: 0.63 (5回、0日) (#)
とうがらし (果実)	2	21.4%SC剤	0.2 lb ai/A 散布	5回	0, 3, 7, 15日 0, 3, 7, 14日	圃場A: 0.26 (5回、0日) (#) 圃場B: 0.99 (5回、0日) (#)
なし (果実)	3	360g/LSC剤	10-10.8 g ai/100L 散布	1回	14, 21日	圃場A: 0.23 圃場B: 0.22 圃場C: 0.11 (1回、21日)
なし (果実)	2	360g/LSC剤	20-21.6 g ai/100L 散布	1回	14, 21日	圃場A: 0.28 (1回、14日) (#) 圃場B: 0.28 (1回、14日) (#)
りんご (果実)	2	360g/LSC剤	10.8 g ai/100L 散布	1回	14, 21, 28日	圃場A: 0.21 圃場B: 0.16
りんご (果実)	2	360g/LSC剤	21.6 g ai/100L 散布	1回	14, 21, 28日	圃場A: 0.32 (1回、14日) (#) 圃場B: 0.26 (1回、14日) (#)
りんご (果実)	1	360g/LSC剤	12.5 g ai/100L 散布	1回	14, 30, 45, 60日	圃場A: 0.20 (1回、14日) (#)
りんご (果実)	1	360g/LSC剤	25 g ai/100L 散布	1回	14, 30, 45, 60日	圃場A: 0.77 (1回、14日) (#)
りんご (果実)	2	500g/LSC剤	25 g ai/100L 散布	2回	14, 21, 28日 14, 21, 27日	圃場A: 0.42 (2回、14日) (#) 圃場B: 0.43 (2回、14日) (#)
りんご (果実)	1	500g/LSC剤	25 g ai/100L 散布	2回	14, 21, 28日	圃場A: 0.16 (2回、14日) (#)
りんご (果実)	1	240g/LSC剤	25 g ai/100L 散布	2回	14, 21, 28日	圃場A: 0.13 (2回、14日) (#)
りんご (果実)	1	500g/kgWG剤	25 g ai/100L 散布	2回	14, 21, 28日	圃場A: 0.56 (2回、21日) (#)
りんご (果実)	2	500g/kgWG剤	25 g ai/100L 散布	2回	14, 21, 28日	圃場A: 0.20 (2回、14日) (#) 圃場B: 0.25 (2回、21日) (#)
もも (果実)	2	360g/LSC剤	10-10.8 g ai/100L 散布	1回	7, 14, 21日	圃場A: 0.48 圃場B: 0.22
もも (果実)	2	360g/LSC剤	20-21.6 g ai/100L 散布	1回	14, 21日	圃場A: 0.76 (1回、7日) (#) 圃場B: 0.67 (1回、7日) (#)

注1) 最大残留量: 当該農薬の申請の範囲内で最も多量に使い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験 (いわゆる最大条件下の作物残留試験) を実施し、それぞれの試験から得られた残留量。(参考: 平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に関する意見具申」)

注2) (#) これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
小豆類	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01(あずき)
さといも類(やつがしらを含む。)	0.03	0.03	○			<0.005(#),0.006
かんしょ	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01
やまいも(長いもをいう。)	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01(#)
てんさい	0.5	0.5	○			0.12(\$),0.05
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.1	0.1	○			0.014,0.02
だいこん類(ラディッシュを含む。)	3	3	○			0.27,1.42(\$)
かぶ類の根	0.2	0.2	○			0.02,0.05(\$)/0.02,0.04
かぶ類の葉	15	15	○			9.60,4.66/9.52,5.37
はくさい	2	0.5	○・申			0.64,0.48
キャベツ	1	1	○			0.33,0.30
芽キャベツ	0.3	0.3	○			<0.05,0.08
ケール	10	10	○			(みずな参照)
こまつな	5	5	○			2.84,2.28
きょうな	10	10	○			1.28,4.86(みずな)
チンゲンサイ	10	10	○			(みずな参照)
カリフラワー	1	1	○			0.38(\$),0.154
ブロッコリー	3	1	○・申			1.10(\$),0.27
その他のあぶらな科野菜	10	10	○			(葉))
しゅんぎく	20		申			12.0,13.4 7.58,4.38/
レタス(サラダ菜及びちしやを含む。)	20	20	○			4.88,11.6(\$)(サラダ菜)
その他のきく科野菜	20	20	○			11.2(\$),4.0(すいぜんじな)
ねぎ(リーキを含む。)	3	3	○			1.30(\$),0.74(葉ねぎ)
アスパラガス	0.5	0.5	○			0.20,0.02
その他のゆり科野菜	0.7	0.7	○			0.22(\$),0.14(葉にんにく)
にんじん	0.2		申			0.04,0.02
セロリ	3	3	○			1.39,1.36
みつば	3	3	○			1.3,0.8
その他のせり科野菜	2	2	○			0.6(\$),<0.3(あしたば)
トマト	1	1.0	○			0.35,0.48(ミニトマト)
ピーマン	1	1	○			0.20,0.36(\$)
なす	1	1	○			0.324(\$),0.164
その他のなす科野菜	5	5	○			2.35,0.90(ししとう)
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.5	0.5	○			0.166,0.118
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.5	0.5	○			0.06,0.12(\$)
しろうり	1	1	○			きゅうりの作物残留試験成績の2倍として設定した。
すいか	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01
その他のうり科野菜	1	1	○			0.4(\$),0.2(にがうり)
ほうれんそう	3		申			1.06(\$),0.68
オクラ	0.7	0.7	○			0.22,0.30
しょうが	0.05		申			<0.01,<0.01
未成熟えんどう	2	2	○			0.58,0.96(#,\$)(未成熟えんどう)
未成熟いんげん	0.5		申			0.12,0.15(さやいんげん)
えだまめ	5		申			0.46,1.67(\$)
その他の野菜	5	2	○・申			(えだまめ参照)
みかん	0.3	0.3	○			0.07(\$),0.03(散布)
なつみかんの果実全体	2	2	○			0.35,0.73
レモン	2	2	○			(なつみかんの果実全体参照)
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	2	2	○			(なつみかんの果実全体参照)
グレープフルーツ	2	2	○			(なつみかんの果実全体参照)
ライム	2	2	○			(なつみかんの果実全体参照)
その他のかんきつ類果実	2	2	○			(なつみかんの果実全体参照)
りんご	2	2	○			0.60,0.69
日本なし	1	1	○			0.35,0.28
西洋なし	1	1	○			(日本なし参照)
マルメロ	0.5	0.5				
びわ	0.5	0.5				
もも	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01

食品名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
ネクタリン	1	1	○			0.28, 0.45
あんず(アブリコットを含む。)	2		申			(うめ参照)
すもも(ブルーベリーを含む。)	0.5	0.5	○			0.10, 0.18
うめ	2		申			0.52(\$), 0.38
おうとう(チェリーを含む。)	1	1	○			0.32(\$), 0.12
いちご	5	5	○			0.30, 1.54(\$)
ぶどう	5	5	○			0.08, 0.84/2.39(\$), 0.83
かき	1	1	○			0.39(\$), 0.14
バナナ	2	2	○			0.28, 0.83
キウイ	0.05	0.05	○			<0.01, <0.01
マンゴー	0.3	0.3	○			0.085, 0.080
その他の果実	2	2	○			0.74, 0.74(コロンシ)
綿実	0.5	0.5				
茶	40	40	○			30.8(\$), 15.8/20.3, 28.6(荒茶) 0.36, 0.22/0.38, 0.64(浸出液)
その他のスパイス	10	10	○			3.90(\$), 1.69(みかん果皮)
その他のハーブ	10	10	○			3.93, 4.94(よもぎ)
牛の筋肉	0.01	0.01				
豚の筋肉	0.01	0.01				
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.01	0.01				
牛の脂肪	0.05	0.05			0.05	オーストラリア
豚の脂肪	0.05	0.05			0.05	オーストラリア
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.05	0.05			0.05	オーストラリア
牛の肝臓	0.05	0.05			0.05	オーストラリア
豚の肝臓	0.05	0.05			0.05	オーストラリア
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.05	0.05			0.05	オーストラリア
牛の腎臓	0.05	0.05			0.05	オーストラリア
豚の腎臓	0.05	0.05			0.05	オーストラリア
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.05	0.05			0.05	オーストラリア
牛の食用部分	0.05	0.05			0.05	オーストラリア
豚の食用部分	0.05	0.05			0.05	オーストラリア
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.05	0.05			0.05	オーストラリア
乳	0.01	0.01			0.01	オーストラリア
鶏の筋肉	0.01	0.01			0.01	オーストラリア
その他の家さんの筋肉	0.01	0.01			0.01	オーストラリア
鶏の脂肪	0.01	0.01			0.01	オーストラリア
その他の家さんの脂肪	0.01	0.01			0.01	オーストラリア
鶏の肝臓	0.01	0.01			0.01	オーストラリア
その他の家さんの肝臓	0.01	0.01			0.01	オーストラリア
鶏の腎臓	0.01	0.01			0.01	オーストラリア
その他の家さんの腎臓	0.01	0.01			0.01	オーストラリア
鶏の食用部分	0.01	0.01			0.01	オーストラリア
その他の家さんの食用部分	0.01	0.01			0.01	オーストラリア
鶏の卵	0.01	0.01			0.01	オーストラリア
その他の家さんの卵	0.01	0.01			0.01	オーストラリア

(\$)これらの作物残留試験は、試験成績のばらつきを考慮し、この印をつけた残留値を基準値策定の根拠とした。

(#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。

「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。
本基準(暫定基準以外の基準)を見直す基準値案については、太枠線で囲んで示した。

クロルフェナピル推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に用いた数値 (ppm)	国民平均 TMDI	国民平均 EDI	幼児 (1~6歳) TMDI	幼児 (1~6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
小豆類	0.05	0.01	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
さといも類 (やつがしらを含む。)	0.03	0.006	0.3	0.1	0.2	0.0	0.2	0.0	0.5	0.1
かんしょ	0.05	0.01	0.8	0.2	0.9	0.2	0.7	0.1	0.8	0.2
やまいも (長いもをいう。)	0.05	0.01	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0
てんさい	0.5	0.09	2.3	0.4	1.9	0.3	1.7	0.3	2.0	0.4
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	0.1	0.017	4.5	0.8	1.9	0.3	2.9	0.5	5.9	1.0
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	3	0.85	6.6	1.9	1.5	0.4	2.7	0.8	10.2	2.9
かぶ類の根	0.2	0.03	0.5	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.8	0.1
かぶ類の葉	15	7.3	7.5	3.7	1.5	0.7	4.5	2.2	16.5	8.0
はくさい	2	0.56	58.8	16.5	20.6	5.8	43.8	12.3	63.4	17.8
キャベツ	1	0.32	22.8	7.3	9.8	3.1	22.9	7.3	19.9	6.4
芽キャベツ	0.3	0.065	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ケール	10	10	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
ごまつな	5	2.56	21.5	11.0	10.0	5.1	8.0	4.1	29.5	15.1
きょうな	10	3.1	3.0	0.9	1.0	0.3	1.0	0.3	3.0	0.9
チンゲンサイ	10	10	14.0	14.0	3.0	3.0	10.0	10.0	19.0	19.0
カリフラワー	1	0.27	0.4	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.4	0.1
ブロッコリー	3	0.69	13.5	3.1	8.4	1.9	14.1	3.2	12.3	2.8
その他のあぶらな科野菜	10	5.2	21.0	10.9	3.0	1.6	2.0	1.0	31.0	16.1
しゅんぎく	20	12.7	50.0	31.8	12.0	7.6	38.0	24.1	74.0	47.0
レタス (チラダ菜及びびちしゃを含む。)	20	7.11	122.0	43.4	50.0	17.8	128.0	45.5	84.0	29.9
その他のさく科野菜	20	7.6	8.0	3.0	2.0	0.8	10.0	3.8	14.0	5.3
ねぎ (リーキを含む。)	3	1.02	33.9	11.5	13.5	4.6	24.6	8.4	40.5	13.8
アスパラガス	0.5	0.11	0.5	0.1	0.2	0.0	0.2	0.0	0.4	0.1
その他のゆり科野菜	0.7	0.18	0.6	0.2	0.1	0.0	0.1	0.0	1.3	0.3
にんじん	0.2	0.03	4.9	0.7	3.3	0.5	5.0	0.8	4.5	0.7
セロリ	3	1.38	1.2	0.6	0.3	0.1	0.9	0.4	1.2	0.6
みつば	3	1.1	0.6	0.2	0.3	0.1	0.3	0.1	0.6	0.2
その他のせり科野菜	2	0.5	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.6	0.2
トマト	1	0.415	24.3	10.1	16.9	7.0	24.5	10.2	18.9	7.8
ピーマン	1	0.28	4.4	1.2	2.0	0.6	1.9	0.5	3.7	1.0
なす	1	0.244	4.0	1.0	0.9	0.2	3.3	0.8	5.7	1.4
その他のなす科野菜	5	1.63	1.0	0.3	0.5	0.2	0.5	0.2	1.5	0.5
きゅうり (ガーキンを含む。)	0.5	0.14	8.2	2.3	4.1	1.1	5.1	1.4	8.3	2.3
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	0.5	0.09	4.7	0.8	2.9	0.5	3.5	0.6	5.8	1.0
しろうり	1	1	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.8	0.8
ずいか	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のうり科野菜	1	0.3	0.5	0.2	0.1	0.0	2.3	0.7	0.7	0.2
ほうれんそう	3	0.87	56.1	16.3	30.3	8.8	52.2	15.1	65.1	18.9
オクラ	0.7	0.26	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1
しょうが	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
未成熟えんどう	2	0.77	1.2	0.5	0.4	0.2	1.4	0.5	1.2	0.5
未成熟いんげん	0.5	0.14	1.0	0.3	0.6	0.2	0.9	0.3	0.9	0.3
えだまめ	5	1.07	0.5	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1
その他の野菜	5	5	63.0	63.0	48.5	48.5	48.0	48.0	61.0	61.0
みかん	0.3	0.05	12.5	2.1	10.6	1.8	13.7	2.3	12.8	2.1
なつみかんの果実全体	2	0.54	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1
レモン	2	2	0.6	0.6	0.4	0.4	0.6	0.6	0.6	0.6
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	2	2	0.8	0.8	1.2	1.2	1.6	1.6	0.4	0.4
グレープフルーツ	2	2	2.4	2.4	0.8	0.8	4.2	4.2	1.6	1.6
ライム	2	2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
その他のかんきつ類果実	2	2	0.8	0.8	0.2	0.2	0.2	0.2	1.2	1.2
りんご	2	0.65	70.6	22.8	72.4	23.3	60.0	19.4	71.2	23.0
日本なし	1	0.32	5.1	1.6	4.4	1.4	5.3	1.7	5.1	1.6
西洋なし	1	0.32	0.10	0.0	0.10	0.03	0.10	0.03	0.10	0.0
マルメロ	0.5	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
びわ	0.5	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
もも	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0
ネクタリン	1	0.37	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
あんず (アブリコットを含む。)	2	2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
すもも (ブルーベリーを含む。)	0.5	0.14	0.1	0.0	0.1	0.0	0.7	0.2	0.1	0.0
うめ	2	0.45	2.2	0.5	0.6	0.1	2.8	0.6	3.2	0.7
おうとう (チェリーを含む。)	1	0.22	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
いちご	5	0.92	1.5	0.3	2.0	0.4	0.5	0.1	0.5	0.1
ぶどう	5	1.04	29.0	6.0	22.0	4.6	8.0	1.7	19.0	4.0
かき	1	0.27	31.4	8.5	8.0	2.2	21.5	5.8	49.6	13.4
バナナ	2	0.56	25.2	7.1	22.6	6.3	17.4	4.9	35.4	9.9
キウイ	0.05	0.01	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
マンゴー	0.3	0.08	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の果実	2	0.74	7.8	2.9	11.8	4.4	2.8	1.0	3.4	1.3
綿実	0.5	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
茶	40	0.4	120.0	1.2	56.0	0.6	140.0	1.4	172.0	1.7
その他のスパイス	10	2.8	1.0	0.3	1.0	0.3	1.0	0.3	1.0	0.3
その他のハーブ	10	4.4	1.0	0.4	1.0	0.4	1.0	0.4	1.0	0.4
陸棲哺乳類の肉類	0.05	0.05	2.9	2.9	1.6	1.6	3.0	3.0	2.9	2.9
陸棲哺乳類の乳類	0.01	0.01	1.4	1.4	2.0	2.0	1.8	1.8	1.4	1.4
家禽の肉類	0.01	0.01	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
家禽の卵類	0.01	0.01	0.4	0.4	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4
計			888.1	323.6	475.0	176.2	755.5	257.6	996.1	353.8
ADI比 (%)			64.1	23.4	115.6	42.9	52.3	17.8	70.7	25.1

TMDI: 理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

EDI: 推定1日摂取量 (Estimated Daily Intake)

高齢者については畜産物の摂取量データがないため、妊婦については家さんの卵類の摂取量データがないため、国民平均の摂取量を参考とした。

●: 個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値 (案) の数値を用いた。

なお、グループで基準値が設定されている作物については、根拠となった作物以外についてはTMDI試算を行った。

(参考)

これまでの経緯

平成 8年	4月25日	初回農薬登録
平成17年	9月22日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る基準値設定依頼 (適用拡大：いちご及びとうがらし類)
平成17年10月	4日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る 食品健康影響評価について要請
平成17年11月	29日	残留農薬基準告示
平成18年	7月18日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る 食品健康影響評価について追加要請
平成19年	3月15日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る基準値設定依頼 (適用拡大：かぶ、さやえんどう等)
平成19年	9月27日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価に ついて通知
平成20年11月	27日	残留農薬基準告示
平成20年11月	27日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る基準値設定依頼 (適用拡大：すもも、キウイフルーツ及びキャベツ)
平成21年	1月20日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る 食品健康影響評価について要請
平成21年11月	5日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価に ついて通知
平成22年12月	13日	残留農薬基準告示
平成22年12月	21日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る基準値設定依頼 (適用拡大：はくさい、ブロッコリー、しゅんぎく、にんじん、ほう れんそう、しょうが、豆類(未成熟)及び小粒核果類)
平成23年	2月8日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る 食品健康影響評価について要請
平成23年	9月8日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価に ついて通知
平成24年	2月13日	薬事・食品衛生審議会への諮問
平成24年	2月21日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

石井 里枝	埼玉県衛生研究所水・食品担当専門研究員
○大野 泰雄	国立医薬品食品衛生研究所長
尾崎 博	東京大学大学院農学生命科学研究科獣医薬理学教室教授
斉藤 貢一	星薬科大学薬品分析化学教室准教授

佐藤 清	財団法人残留農薬研究所理事・化学部長
高橋 美幸	農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所上席研究員
永山 敏廣	東京都健康安全研究センター食品化学部長
廣野 育生	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科教授
松田 りえ子	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
宮井 俊一	社団法人日本植物防疫協会技術顧問
山内 明子	日本生活協同組合連合会執行役員組織推進本部長
由田 克士	大阪市立大学大学院生活科学研究科公衆栄養学教授
吉成 浩一	東北大学大学院薬学研究科医療薬学講座薬物動態学分野准教授
鱒淵 英機	大阪市立大学大学院医学研究科都市環境病理学教授

(○：部会長)